

ひととひととのかけはし

小地域福祉活動報告書



平成19年3月
東京都社会福祉協議会

目 次

はじめに	1
1. 「小地域福祉活動に関する実態調査」集計結果より	2
(1) 小地域福祉活動の種類	2
(2) 小地域福祉活動をすすめる上で障害になったこと	3
(3) 小地域福祉活動をすすめる上でスムーズに進んだこと	3
(4) 社協以外が実施している小地域福祉活動	3
(5) 都市型の小地域福祉活動の取り組み	4
(6) 今後、小地域福祉活動を活用して取り組んでみたいこと	4
(7) 区市町村社協が小地域福祉活動を推進することについて	4
2. 「小地域福祉活動に関する実態調査」活動報告書より	5
(1) 小地域福祉活動報告書調査結果	5
(2) 小地域福祉活動報告書調査結果（活動種別）	9
a. サロン活動	9
b. 会食・配食	10
c. 見守り・声かけ活動	12
d. 催し物	13
e. 講座	15
f. 世代間交流	16
g. ミニデイ	17
h. 住民懇談会	19
i. 車いすステーション	20
j. 防災	21
k. 福祉マップ	22
l. 防犯活動	23
m. その他	24
3. 「これからの小地域福祉活動の推進に関する連絡会」事例報告	25
(1) 地域担当制による小地域福祉活動（中野区社協）	27
(2) 再開発地域における新たな小地域福祉活動（荒川区社協）	30
(3) 地域ケアの動向と小地域福祉活動（立川市社協）	33
(4) 地域福祉活動計画と小地域福祉活動（調布市社協）	37
資料編	
1. 小地域福祉活動報告書	39
2. 小地域福祉活動に関する実態調査 調査票	114

はじめに

平成12年の社会福祉法の施行により区市町村社会福祉協議会（以下「社協」）が地域福祉推進の中核として明確に位置づけられました。

また、平成18年には、介護保険制度の改正、障害者自立支援法の施行など、社会福祉を取り巻く環境も、「地域福祉志向」が顕著となってきています。

地域の実情に合わせたまちづくりや住民一人ひとりの福祉ニーズを大切にしたい問題解決、誰もが安心して暮らせるまちづくりのための住民と一体となった小地域福祉活動の取り組みが重要になっています。このような取り組みを進めていくことは、災害等不測の事態が起っても、住民同士が助け合える土壌を作っていくことにつながると考えられます。

「小地域福祉活動」とは、身近な地域で、誰もが、安心して、生きがいを持って、安全に生活を送ることができる地域づくりを目指して、住民自らが力をあわせて進める、住民主体の福祉活動をいいます。

本会では、東京都内の区市町村社協における大都市特有の生活課題を踏まえた小地域福祉活動の推進の実態を明らかにするため、平成17年10月に小地域福祉活動を支援する取り組みを調査しました（調査票 巻末参照）。

調査項目としては、各地区の小地域福祉活動の取り組み状況と内容、小地域福祉活動をすすめる上で障害になったこと、またその克服方法、スムーズに進んだ活動のエピソード、社協以外が実施している小地域福祉活動の状況、都市型の小地域福祉活動の課題に対する取り組み事例、今後、小地域福祉活動を活用して取組んでみたいこと等を伺いました。（1 「小地域福祉活動に関する実態調査」集計結果参照）

また、小地域福祉活動の取り組み内容について、対象や活動の目的、きっかけ、具体的活動内容や範囲、拠点と社協の関わり方や活動を進める上で障害になったこと、その克服・対処法、成果や財源、課題や方向性を活動の種別ごとにご報告いただき、146もの事例が集まりました。（2 「小地域福祉活動に関する実態調査」活動種別からみた傾向 参照）

さらに、平成18年3月には「これからの小地域福祉活動の推進に関する連絡会」を開催し、先駆的な事例として、中野区社協、荒川区社協、立川市社協、調布市社協からそれぞれの活動報告を発表していただきました。（3 「これからの小地域福祉活動の推進に関する連絡会」の事例報告 参照）

今日、社協が策定する「地域福祉活動計画」でも、「小地域福祉活動への取り組み」を優先課題として打ち出し、今後において「地域力」を育む小地域福祉活動を社協の中心的取り組みとして位置づけているところが増えてきました。

本活動事例集が、今後の社協活動に資するひとつの参考としていただければ幸いです。